

第2次南越前町総合計画を策定しました

本町は、平成19年度から平成28年度までの10年間を計画期間とする第1次南越前町総合計画に基づき、まちづくりを進めてきました。しかしながら、第1次総合計画の策定から8年が経過した今現在、推計を超える人口の減少や少子高齢化の進行、社会経済情勢の変化など、第1次総合計画の目標年次を前に本町を取り巻く情勢は大きく変化してきています。

これらの社会情勢の変化に的確に対応するとともに、将来にわたり活力ある豊かなまちづくりを目指すため、当初予定していた計画期間を2年前倒して、第2次南越前町総合計画を策定しました。また3月20日に開催された町議会定例会において、第2次南越前町総合計画の基本構想が可決されました。

この計画は「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」により構成され、今後10年間の基本構想や基本計画の前期計画期間である5年間の施策をまとめ、最終目標年次を平成36年度としています。

【町の将来像】

「海と緑と歴史の恵みに抱かれて、

出会いから活力の花ひらく町」

基本構想

第1次南越前町総合計画の基本理念を継承し、地域発展に向けた指針と、真に豊かなふるさと「南越前町」の実現に必要な将来像を示しました。

6つの基本目標

① 町民に優しいまちづくり

保健・医療・介護・福祉の連携の強化を図ること、住み慣れたまちで、みんなが健康に安心して暮らせるまちをつくりまします。

② 安全安心して暮らせるまちづくり

防災対策の充実と住民を取り巻く住環境整備の充実を図ること、快適に生活できるまちをつくりまします。

③ 活き活きと働けるまちづくり

地域間の連携を活かした地域資源の有効利用と新しいアイデアの創造や人材の育成、雇用の確保により、活力あふれるまちをつくりまします。

④ 人と文化を育むまちづくり

豊かな人間性を育む教育環境の充実を図り、未来を担う子どもたちがのびのびと学び、未来に夢が描けるまちをつくりまします。

歴史文化の継承活動の活発化を図り、「まちとしての価値」を高め、それを地域に還元することで地域を潤すまちをつくりまします。

⑤ 住民主体のまちづくり

財政状況の厳しさが増す中、高まる公的サービスニーズに応じていくことが困難となっています。これまでの行政主導のまちづくりから住民、各種団体、行政が一体となった協働によるまちづくりへの転換を進め補完性の原理に基づいたまちをつくりまします。

⑥ 効率的な行財政運営によるまちづくり

最小限の経費で最大限の効果を引き出すよう、事務事業の集中と選択により、真に必要なサービス機能の確保しつつ、持続可能な財政運営を行うことが必要です。公共施設の統廃合や行政組織の見直し、さらには定員適正化計画の着実な実行により、将来に負担を残さないまちをつくりまします。



問合せ

企画財政課

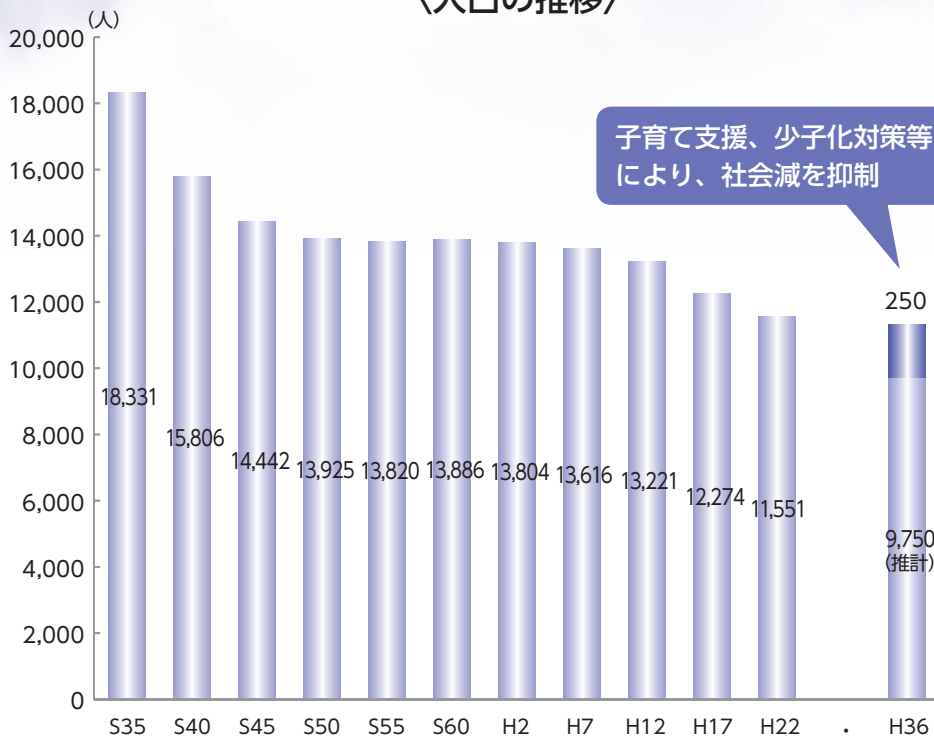
☎ 47-18013

定住人口の目標は10,000人

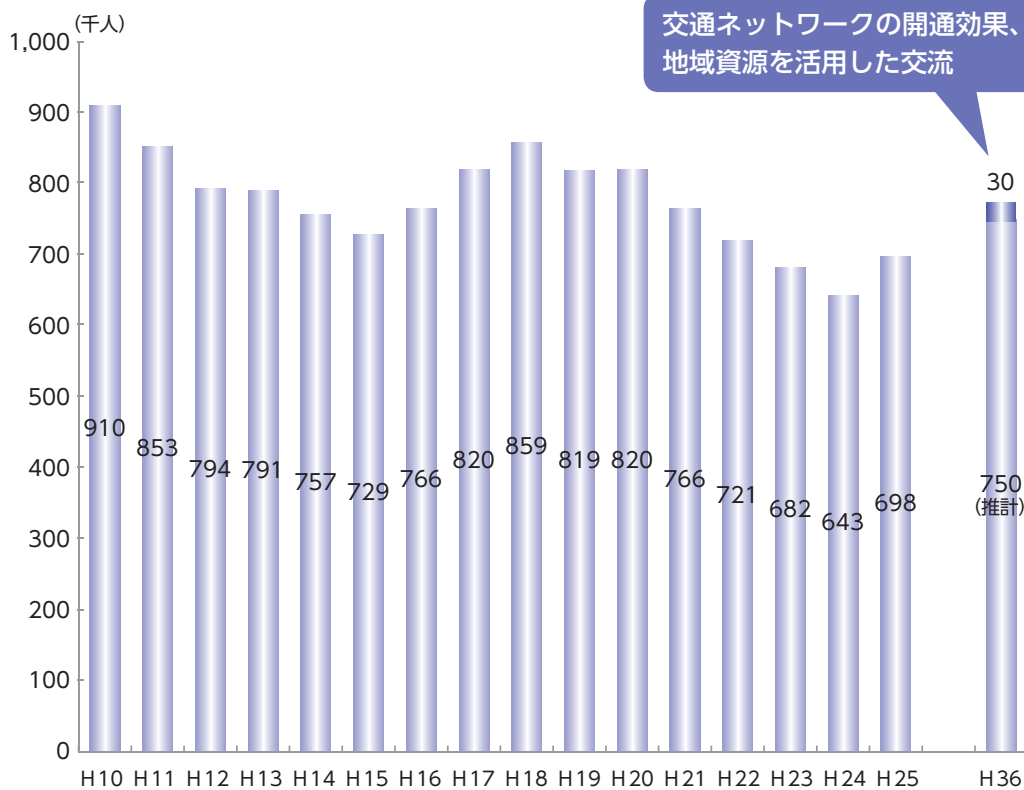
第1次総合計画における将来人口推計では、平成27年の本町の人口は11,652人としていましたが、平成22年国勢調査時人口は11,551人となり、推計を超える人口減少となっています。

今後は若者の定住意欲を高め、人口流出に歯止めをかける子育て支援、少子化対策などに積極的に取り組むこととし、平成36年度における定住人口を1万人としました。

〈人口の推移〉



〈観光客入込数の推移〉



交流人口の目標は78万人

近年における観光客入込数は、平成10年の91万人、平成18年の86万人をピークに減少しており、平成24年は64万人となっています。北前船歴史空間プロジェクトや今庄宿プロジェクトなど地域資源を活用した景観観光事業と、舞鶴若狭自動車道の全線開通、北陸新幹線金沢開業など、相乗効果を活かした交流施策の推進により、平成36年度における交流人口は78万人としました。

ゾーン別まちづくり

街道と海岸に沿った町の特性を活かしたまちづくりを推進するため、前計画に設定した5つの「まちづくりエリア」と4つの「まちづくり交流軸」を継承します。



出会いから活力の花ひらく町

基本構想に定めた将来像を実現するため、6つの基本目標ごとに体系的に施策を示し、「計画達成のために取り組むこと」を定めました。

基本計画の体系

安全安心して暮らせるまちづくり					町民に優しいまちづくり					基本目標	基本施策	細施策
⑩ 快適な住環境づくり	⑨ 自然環境との共生	⑧ 上下水道の整備	⑦ 道路交通網の整備	⑥ 安全な環境づくり	⑤ 協力し助け合う地域福祉の推進	④ 子育ての支援、児童福祉の充実と次世代育成	③ 自立を支援する障害者福祉の推進	② 地域で暮らせる高齢者福祉の充実	① 健康な心と体づくり 保健・医療・福祉・介護の連携の強化と充実			
■ 住宅の整備 ■ 住環境の整備 ■ 情報通信環境とケーブルテレビ事業の充実	■ 自然環境の保全と衛生環境の整備 ■ 下水道の普及・管理と再利用	■ 上下水道の安定供給 ■ 生活道路の整備	■ 幹線道路の整備	■ 防災体制の充実 ■ 原子力安全対策の充実 ■ 地域防犯体制の充実 ■ 交通安全対策の充実 ■ 住民生活相談の充実	■ 人に優しいまちづくりの推進 ■ 地域福祉活動への住民参加の推進 ■ 福祉サービス等の適切な利用の促進	■ 子育てを支援するサービスの充実 ■ 子どもたちを取り巻く環境の整備 ■ 命の尊厳と人間社会の継承 ■ 「次代の親」の育成	■ 生活支援の推進 ■ 自立と社会参加の促進	■ 高齢者を支援するサービスの充実 ■ 高齢者の元気づくりの促進	■ 健康づくり支援体制の整備、充実 ■ 地域包括ケアシステムの構築と運用 ■ 医療・保健施設の整備と機能の充実			

第2次南越前町総合計画を策定するにあたり、前計画に掲げていた49の細施策とそれらを構成する102の事務事業について達成度の評価を行い、各施策の進捗状況の把握、目標や目的の達成度の測定、課題の検証を行ったうえで、その結果をもとに事務事業の見直しを進めました。

基本構想については、施策の継続性を維持するため、前計画を基本的に継承し、基本計画については、「目指すまちの姿」を描き、その実現のための具体策を「計画達成のために取り組むこと」として表現しました。

また、「目指す指標」を数値化するなど確実性のある事務事業の遂行につながる工夫を加えたほか、新たに行財政改革に関する分野を基本目標の1つとして組み入れ、事務事業の「選択と集中」を行い効率的な行財政運営によるまちづくりを強く推し進めていきます。

この計画の策定にあたり、貴重な意見・ご提言をいただきました町民の皆さんをはじめ、熱心にご審議をいただきました総合計画審議会委員、関係各位のご協力に対し、心から感謝申し上げます。

※第2次南越前町総合計画は町ホームページに掲載するほか、町内図書館に冊子が置いてありますので、ぜひご覧ください。

町の将来像

海と緑と歴史の恵みに抱かれて

効率的な 行財政運営による まちづくり			住民主体の まちづくり		人と文化を育む まちづくり			生き活きと 働ける まちづくり		
②① チャレンジする組織改革	②② 効率的な財政運営の推進	①⑨ 住民の視点に立った行政サービス	①⑧ 共に活躍できる人づくり、まちづくり	①⑦ 住民と行政の協働によるまちづくり	①⑥ 歴史文化の継承と芸術文化の振興	①⑤ 生涯にわたる学習社会の充実	①④ 豊かな人間性を育む教育の充実と環境の整備	①③ 観光の振興	①② 商工業の振興	①① 農林水産業の振興
■ 職員の意識改革 ■ 行政組織の見直し ■ 公共施設のあり方の見直し ■ 出資団体等との経費負担の適正化 ■ 危機管理体制の充実	■ 効率的な財政運営方針の確立 ■ 自主財源の確保と歳出の見直し	■ 行政サービスの充実 ■ 行政評価制度の導入 ■ ICT化の推進と活用	■ 人権を尊重する教育、啓発の推進 ■ 社会教育の推進	■ 住民参加システムの構築 ■ 行政情報の積極的な公開	■ 歴史・伝統文化の保存と継承 ■ 芸術・文化の振興	■ 生涯学習環境の充実 ■ 生涯スポーツの振興	■ 就学前の教育・保育の充実と連携の強化 ■ 「生きる力」を育む学校教育の充実 ■ 安全な教育環境の整備 ■ 地域・家庭教育の推進 ■ 障害のある子どもたちの教育の充実	■ 観光基盤の整備充実 ■ 観光情報発信の強化	■ 商工業の振興 ■ 雇用の促進	■ 農林水産業を支える基盤の整備充実と保全 ■ 6次産業化と地産地消の推進